

支那外電一束

(暗雲漂ふ) 張作霖は滿州から北京へ出發、玉祥は四萬の手兵を率ひ北津に立籠らんとしてゐる。日本は米國が支那政變に關しての極東問題に容喙するを妨げたい意思を有し吳佩孚の行動を總て米國の敵たる張作霖へ通知すると云ふので支那は米政府の干涉を頼まんとす。

(海外大示威運動) 千五百の學生及労働者上海商業會議所に集會(イ)外國銀行及紙幣に對しボイコット(ロ)外國軍艦退去請求の件を決議し、三日北京では一萬の學生示威大會を行ひ日本及英國の帝國主義を葬れと大書した旗を押立て、市中を行列した(大同盟罷業) 露國共產黨に煽動された上海の支那労働者大同盟罷業を生ず。

(米伊兵上陸) 米國兵二千伊國陸戰隊五十名上海へ上陸した同地米國總領事は罷業労働者の排外運動に備ふる爲在留民の義勇兵を募つた又聯合國陸戰隊二千名上陸して在留外人の生命財産の保護に當る。

(戒嚴令) 上海には戒嚴令施行される(米兵との争闘) 暴動者等が市中巡査の米國義勇隊の巡査隊を屋上からビストルで襲撃したので米兵は同家に押入り約三百人を逮捕した(學生團の請願) 學生團は政府に對し治外法權を許容した對外條約廢棄を請願し武装した警察は日英人に對しての示威運動を中止せしめた(益々險惡な上海) 警官隊は嫌疑集団に發砲の命を受け外國人市場は閉鎖物資供給を缺く暴徒は日本製水工場を襲撃し警官は嫌疑者團體の乗つた電車に發砲多數負傷者を生ぜり罷業者の數四萬と算せらる外國新車等の一部にも及び英米増援隊の到着が期待されてゐる。

(綿收穫) 農務省は米國內五月二十日迄の綿收穫は平年の七割六分五

捕花土(ヒンカロード) 一アロード 大五〇〇〇
米(特等) 六〇キロ 一〇五、〇〇〇

厘だこ發表
(濠洲巡航用意) 米艦隊布哇近海の演習終了濠洲へ向け發航の為準備中

英

(駐日及駐伯大使) 現駐伯ジョン・チラー大使は駐日大使に現駐亞公使アルストン氏駐伯大使に任命された

命の為同國境守備の為印度英國兵を動員する

(印度の動員) アフガニスタンの草

命の為同國境守備の為印度英國兵を動員する

(印度の動員) 駐白帝國大使及白

國外務大臣は日白通商航海新條約に

三十日調印七月三十日から効力發生

(對伯移民問題) 南米航路を經營す

る汽船會社本月二十九日會議を開き研究する

(對伯移民問題) 本月二十九日會議を開き研究する

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

同

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

豆

荒井金太氏の
中南米諸巡講に就て

在智利 千田 平一

先月末荒井氏が當地に着かれて、第一回の講演を智利大學の講堂に於て開かれた時、米國大使コリア氏が熱心に傾聴してゐるのを見た、又不思議に當地の『ナシヨン』『エルクリオ』の二大新聞が講演の記事を掲載する事をしなかつた。『ナシヨン』紙の如きは常に日本に好感を持つ新聞であるが、不思議でならない。自分一己の考ではあるが、或は米國大使の手が廻つたものであらうと推する餘地が十分にある。講演は數千の聽衆に向つてなすに過ぎないが、新聞の記事は數十萬の人々に依つて讀まる、從つてその宣傳力の大なるは到底講演の比ではない。此の點に於て米國大使の爲めに先手を打たれた事を遺憾に思ふ。同時に、今後講演せらるゝ各地に於ては官民協力して豫じめ手を迺して置かれん事を切望する次第である。

荒井氏の講演は『現今之日本』と言ふので、國體、教育、思想、宗教、軍事、習慣、產業、歴史、政治其他一般に亘るものである。講演後四卷の活動寫真を撮影せらるゝ、その内容は次の通りである。

第一卷 (一) 日本アルプスの勝景。(二) 海軍飛行場巡演より東京に到る空中旅行。

第二卷 (一) 水上飛行機より見た大阪市。(二) 養業。(三) 太洋丸。(四) 騎兵士官の乗馬演習。(五) 海軍大演習。

第四卷 (一) 國民教育。(二) 少女の薙刀と太刀の試合。(三) 撮影殿下御儀。上空から見た東京の如きは、明治の末葉に日本を出た我々移民連に、大なる驚異と歡喜を齎す。日本に電車があるかと言ふ様な奇問を連發する中南米人にとっては、驚愕、そのものであらうと思ふ。當地では智利大學で一回、舊教大學使が之を召集しない以上、支那問題

で一回、中學で一回、小學でボーリスカウトを集め、多くの場合入場料を日本人に一回(同上)都合五回の在智利日本人に一回(同上)都合五回の

スカウトを集めて一回(僕の主催)、在智利日本人に一回(同上)都合五回の

</div

伯刺西爾の農業(六)

第一編 農業の計劃

なければならない、そして毛開墾の作業は下刈り、伐木、焼拂ひ（焼片付）の順序に成ります。即ち處女林を除きて樹木非常に繁茂して居つて大きな樹木が多くある時は先づ最初に其の間に成長せる草や蔓及灌木を刈りそろしてマッシュヤードにて樹を切り倒し其後二ヶ月を過て之等を焼拂ひ若しも充分焼けなかつた場合は焼片付けをなし整地して作物を植付けれる又其開拓すべき地に大きな樹木もなく繁茂して居らざる森であるか又一度開墾せられた再生林であつたなればフォイセで大體開墾が出来るとして時々大きな樹をマッシュヤードにして切り倒し乾いた後で焼拂ひをなし整地する。若し又新開拓地があつたのであつたなれば容易に開拓が出来て開拓後直ちに焼拂ひができる、下刈りは大きな樹の間にある草や灌木及蔓等を切り開いて伐木するに場所を作る爲であるから町畠にすれば伐木が容易であるし危険が少しも此の仕事をよくやつてをかないといふ伐木する人が往々伐採する樹に灌木や蔓が絡み付いて居り伐木中に他の樹が一緒に引張られて其の爲め樹の倒れる方向が變つたりして怪我をする事がある、そして此仕事は両手にて扱ふフォイセにても出來ますがが草等を残さない様にして刈つたものが地上に一樣に擴がつてある様にせないと焼拂ひの際に焼け残りが出來て焼片付けにも手間がいる。

すると、一旦失はれた呼吸作用も再び開始せられ、神經系を始の其の他の細胞の機能も活動となつて蘇生する場合がある。故に呼吸が止んで居てもまだ心臓の働きが残つて居る場合を假死と名づけて眞の死と區別する。溺死者、絶死者等が人工呼吸を行ひて一旦止まつた呼吸作用を補助する蘇生する場合があるのは畢竟死後餘り多くの時間を経過せずして、未だ假死の状態にあるからである。之れに由つて觀ても心臓の機能が生死を決定する上に如何に重大なる意義を有せるものたるかを想像することが出来る。そこで有らゆる病を昔は四百四病となるが、斯く有らゆる病氣により死因はあるが、併し如何なる死因により死が招來せられた場合でも、生死の境を決めるのは何時でも心臓である。例へば肺炎やチフテリヤ等の急性傳染病で死ぬ場合を考へて見る、一面に呼吸作用が障礙を蒙りて血液に於ける酸素の供給は不足し、炭酸の排除は不十分となり、一面には病原菌が造る毒素に中毒せられて、一般的組織細胞の新陳代謝は著しく害を受ける。就中神經中枢の神經細胞、心臓の細胞は最も過敏で最も早く機能を廢する。是れが死を招く直接の原因をなすものである。

次に腎臓病の爲めに死ぬ場合を考へて見ても同様の關係がある。腎臓は元來新陳代謝の結果として出来る有害なる老廢物を排除する爲めの器官であるから、其の機能が不十分になると老廢物が蓄積して中毒を起し、神經中枢が胃されて精神は朦朧となり、又心臓が働きを停止する最終に死を起すに至るのであつて是れ即ち尿毒性である。

斯く心臓は生死を決定する大切な臟器であるから、昔の人人が之れを以て生命の源泉、精神の坐位と信じたのは無理からぬ次第である。心臓機能の停止は實に死の最初の報告であつて是ぞ人間を幽冥界の寺院に通する

最初の鐘の音である。心臓の動きが始めるのであるが併し心臓の搏動が止まつてもまだ心臓の筋細胞は全停ればやがてはあらゆる細胞も死に始めるのであるが、併し心臓の搏動が喚び戻さしめることが出来る。元來自衛的に行はる心臓の規則正しい伸縮の作用が、故障なく繼續する爲めには種々なる條件が具備して居なければならない。夫れは心臓を循環する液質が血液と同様にナトリウムカリウム、カルシウム等のイオンを一定の割合に於て有つて居なければならぬ。又酸素を充分に有つて居なければならない。心臓を灌流する管外に切入った心臓でも長く自然の律動を繼續する温血動物、加之人間の心臓ではそれを以て心臓を灌流する管外に切入されたのであつて尚ほ大なる翼膜と熱要するにあらゆる死は心臓死である。及化學的性状を具へて居る鹽類溶液さへも、注意を拂つて實驗を行へば成功するのである。

斯かる重要な生理的實驗は獨逸ロストック大學生理學教室に於て行はれたのであつて尙ほ大なる翼膜と熱を以て擴充せらるゝのである。心臓の死を以て擴充せらるゝのである。心臓死である。而かも其の死が凍死、麻酔死等の場合は身體の各方面に擴げんとする塊合の如く心筋の甚だしき變化を伴はずして、唯單なる心臓機能の停止によってつまり、漸次に恐ろしき魔の手を身體の各方面に擴げんとする塊合、出來得る限り早く未だ全く死んで居ない、斯の大切なる器官機能能復活を試み、以て大勢挽回に力める時が何時かは神に代つて千萬人の最後の冀望を満し得る時科學に對する人間の尊敬は如何に高大に如何に痛切であるであらうか。(完)

Hachiva & Irmãos

出席者各位 在伯日本同仁會

来る六月八日開催の筈に有之候弊會第二回講習會は既に出席者に對し一々御通知申上置候通り講師諸彦の都合により八月三百以向一週間ご決定相成候間此段御通知申上候



常盤 ホテル

撞球場、碁、將棋其他娛樂の設備あり
電話.....セントラル六一七三三

廣島屋旅館 館主 小川源右衛門

小川源右衛門 旅館

聖市 魚住時計修繕所
各種計時
蓄音機類 修理専門
時計の病氣なら必ず完全に直します
而も安價にて、試に一度御試し下さい
(聖市廣島屋旅館内)

<img alt="A circular book cover for 'Kobunko Jiten' (A Concise Encyclopedia of Small Items). The cover features a decorative border and contains the following text: '小形美本全臺簡便數三百五十一頁' (351 pages), '會話必携 和葡小辭典' (A Concise Encyclopedia of Chinese-Portuguese), '杉山英雄氏著' (Written by Sakayama Eiichirō), '伯刺西爾時報社發行' (Published by Berthelot's Times Press), and '正價一冊拾金(他に送料一針)' (Original price: 100 gold pieces per volume, plus 1 needle for shipping elsewhere).</div>

NOTICIAS DO BRASIL
Caixa Postal, H São Paulo

ADUBOS FORTUNA

◆諸肥料◆

——定價表御申越次第無代進呈——

Rua Boa Vista No. 21 loja
Caixa Postal, 1002

São Paulo

兄弟商店
enador Feijo, 22
São Paulo

本店 リオ・デ・ジヤ子イロ
Rua Theophilo Ottoni,

Rio de Janeiro
Rita Lino
Ottoni,

峰谷兄弟商會

サンバウロ支店
Rua Senador Feijo, 22

政治季節に入り

日本移民二千渡來說に

帝國大使館の聲明

聯邦議會の蓋が開いて、政治の季節に入ると共に、またボツーとそこへ日本移民問題を論ずる聲がきこへだした、先づ既報の支那移民二千名渡來說が流布されると共に、當國人の中には日本と混同して考へるものが多いところから、吾人の爲には餘り面白い事ではないと感じてゐた折柄、リオ本船で渡來するとの説が誤り傳へられ、リオ及サンパウロの新聞には非常に驚いたものもあつたらしいが、此の事實はやかましい亞細亞移民問題に對しての注目を惹いた然し當大使館が日本政府へ電照した所による

日本船で渡來するとの説が誤り傳へられ、リオ及サンパウロの新聞には非常に驚いたものもあつた。新聞社に對し『近く二千名の支那移民が集まつて日本政府へ電照した』と報せられた如上の件は全く根も葉もない事で、既に各新聞に掲載された當地支那公使館の公式否認が證據である、即ち日本汽船會社は一つも伯國行支那移民輸送契約をしたものはない』と聲明し、其翌二十九日常に日本人に好意を有するリオのガゼッタ・デ・ノチアス紙は、題し日本人と支那人を混同すべきはその一面に高價な犠牲を拂つた事結果は高價な犠牲を拂つた事になり殊にサンパウロ工場労働者の大部分は外國人で勞働問題を起したり

日本船で渡來するとの説が誤り傳へられ、リオ及サンパウロの新聞には非常に驚いたものもあつた。新聞社に對し『近く二千名の支那移民が集まつて日本政府へ電照した』と報せられた如上の件は全く根も葉もない事で、既に各新聞に掲載された當地支那公使館の公式否認が證據である、即ち日本汽船會社は一つも伯國行支那移民輸送契約をしたものはない』と聲明し、其翌二十九日常に日本人に好意を有するリオのガゼッタ・デ・ノチアス紙は、題し日本人と支那人を混同すべきはその一面に高價な犠牲を拂つた事結果は高價な犠牲を拂つた事なり殊にサンパウロ工場労働者の大部分は外國人で勞働問題を起したり

青島紡績工場の罷業惡化

軍隊を出動

南船北馬の旅

文字通りに現はしつゝ聖市に歸つて

ハワイ丸が着いて

死亡 大正七年譲岐丸で渡來した三重縣の柳澤竹十郎氏はレ

子に亡くなれば本年四月に又妻に先立たれ次で嬰兒に永別の不幸に逢つて間もなく今度は自分がマレーで一

ソントスのサンタカーラ入院療養

する處、大日本紡織の職工は

四月下旬青島邦人紡績工場に發生せ

る罷業は五月九日一と先

に日本人が經濟上異常な貢献をしつゝある事を述べて

て日本移民を歓迎すべしと論じてある一方、同日のオーランバルシ

アル紙は例の名に叛く不公平な曲筆

で、フィデリス・レイス案に對して

ある一方、同日のオーランバルシ

